

科目名	老年看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	4年	前期
担当者名	和氣 さち、江口 恵里	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

実際の療養場面を通して老年期にある人々を身体的、精神的、社会的側面から包括的(総合的)に理解し、健康の回復、維持・増進を目指した個別的・倫理的看護を実践するための基礎的能力を養う。
また、高齢者を中心とした保健・医療・福祉における多職種連携のあり方と、看護の役割を学ぶ。さらに、自分自身の高齢者観を深め、看護職としての基本的態度・姿勢を養う。
和氣、江口は、臨床での看護師としての実務経験をもとに、老年看護学実習において指導を行う。

到達目標	成績評価方法
【B4401a】 1. 疾患や健康障害を有している高齢者を生活者として援助することができる 2. 高齢者の健康上の課題に対応した個別的な看護実践ができる 3. 高齢者に対して、尊厳性に基づいた関わりができる。 4. 実習を通して、自分自身の高齢者観を深めることができる。	臨地実習病院評価・学生自己評価・教員評価と実習態度、実習記録、レポート等を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○	○			50
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：看護学臨地実習ガイドブック（老年看護学実習）参照	
授業外学習	
実習ガイドブックに明記しているように、実習に向け事前課題に取り組むこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト：高齢者の健康と障害（メディカ出版） 生活機能からみた老年看護過程＋病態・生活機能 関連図（医学書院） ・参考書：老年看護 病態・疾病論（医学書院） ・老年看護学（医学書院） 	基礎看護学、成人看護学、老年看護学 ・ 、老年看護学実習 、総合看護実習 ・

課題に対するフィードバック

提出した事前課題については、実習前に返却します。

備考

科目名	精神看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	4年	前期
担当者名	佐藤 美幸、柿並 洋子	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要
 精神の健康に障害をもつ対象を、身体的・精神的・社会的側面から理解するとともに、対象への日常生活または治療的援助の方法や社会復帰に向けての働きかけについて、実践を通して修得する。
 実習は、精神科病院および社会復帰施設で行う（2週間）。

（佐藤、柿並は看護師としての実務経験をもとに授業を行う。）

到達目標 B4402a 精神障害者とかかわることができる 精神科の治療やケアを説明できる 院内で行われている様々な活動に参加し、患者と関わりを持つことにより、精神障害を体験的に理解できる 病棟に入院中の患者や病院・施設の利用者とのコミュニケーションを通じて、自己の対人関係を振り返る	成績評価方法 実習記録、実習態度を総合判断する （別途要項に示す）
--	---

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○		50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：看護学臨地実習ガイドブック（精神看護学実習）参照	実習
授業外学習	
事前学習課題を必ず行って臨むこと 既習科目はすべて復習して臨むこと 記録は、日々行うこと 学習時間は毎日180分程度を目安とする	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
新体系看護学全書 精神看護学 精神看護学概論精神保健 精神看護学 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社 実習要項（精神看護学実習、共通）	精神看護学、 看護学すべて

課題に対するフィードバック

実習を通じて適宜コメントする。一部の記録はコメントを入れて返却する。

備考

オリエンテーションはすべて出席すること。

科目名	総合ゼミナール						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	1	4年	後期			
担当者名	佐藤 美幸、柿並 洋子、山崎 千鶴 代、木元 卓也、三輪 直之		関連する資格	保健師国家試験受験資格 看護師国家試験受験資格			
授業概要 保健・医療・福祉の現場において看護活動を実践するにあたっては、他職種との連携・協働が求められる。総合ゼミナールにおいては、本学で養成する看護職、福祉職、心理職等を学ぶ学生が各部門に共通する問題を抱えた事例についてカンファレンスを行い、各自の立場から検証するとともに、他職種との連携を体験し、その必要性を学ぶ。また、多職種間のコミュニケーション技術を身につけ、実践に強い看護職を目指す。 授業は対面で行う。 (佐藤、柿並は看護師、山崎は保健師、木元は公認心理師、三輪は社会福祉士としての実務経験をもとに授業を行う)							
到達目標 B4501 ・保健・医療・福祉の連携を説明できる ・多職種間でのコミュニケーションの重要性を体験する ・多職種間での連携の方法を述べるができる ・他の医療・福祉職の役割と立場を尊重した行動ができる ・他の医療・福祉職と協働できる ・多職種の協働における自分の役割を理解し、それに応じた言動ができる			成績評価方法 レポート、ゼミナール参加状況、グループワーク				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				60
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション				○	○		10
グループワーク	○	○	○	○	○		20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容(時間)	アクティブラーニング
1) 保健・医療・福祉の現場における看護活動(佐藤) 【予習】既習科目の復習を行う(30分) 【復習】資料の確認、講義の振り返り(60分)	
2) 看護師の立場から見た他職種との連携(柿並) 【予習】既習科目の復習を行う(30分) 【復習】資料の確認、講義の振り返り(60分)	
3) 保健師の立場から見た他職種との連携(山崎) 【予習】既習科目の復習を行う(30分) 【復習】資料の確認、講義の振り返り(60分)	
4) 福祉/心理の立場から見た他職種との連携(木元・三輪) 【予習】既習科目の復習を行う(30分) 【復習】資料の確認、講義の振り返り(60分)	
5) 事例に基づく合同カンファレンス (佐藤、柿並) 【予習】カンファレンスの準備を行う(30分) 【復習】発表、レポートの準備(60分)	グループワーク
6) 事例に基づく合同カンファレンス (佐藤、柿並) 【予習】カンファレンスの準備を行う(30分) 【復習】発表、レポートの準備(60分)	グループワーク
7) 事例に基づく合同カンファレンス (佐藤、柿並) 【予習】カンファレンスの準備を行う(30分) 【復習】発表、レポートの準備(60分)	グループワーク
8) 保健・医療・福祉の役割と課題(発表・まとめ) (佐藤、柿並) 【予習】発表の準備を行う(30分) 【復習】レポートの作成(60分)	グループワーク
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
グループワークに必要な情報、知識は各自で集めてグループワークに臨むこと 総合的な知識を用いての演習のため、既習科目の復習を十分に行っておく	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
資料配付	既習科目すべて

課題に対するフィードバック

講義中にコメントするとともにグループワークを通じて全体にシェアする

備考

科目名	看護教育学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	4年	前期
担当者名	佐藤 美幸	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

看護教育制度と看護教育方法の現状と課題を理解し、看護学への関心を深め、質の高い看護のための学ぶ姿勢を身につける。本講義は遠隔授業で行う。

授業は対面で行う。

(佐藤は看護師として、大学教員としての実務経験をもとに授業を行う。)

到達目標

B4403

看護学の歴史と教育制度の変遷を理解する
 看護教育制度の現状を理解し、課題について述べることができる
 看護専門職者としての継続教育と必要性が説明できる
 質の高い看護実践のために必要な看護教育について自らの考えを述べる
 ことができる

成績評価方法

授業内の課題 (50%)
 最終レポート (50%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							50
宿題、授業外レポート	○	○	○				50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 看護教育とは 【予習】シラバスを確認する。学生ハンドブックを読んてくる（15分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
2) 看護教育の歴史と教育制度の変遷 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
3) 看護教育制度 1 看護基礎教育（看護師、保健師、助産師の教育システム） 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
4) 看護教育制度 2 看護基礎教育（大学における教育） 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
5) 看護教育制度 3 継続教育 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
6) 看護教育制度 4 卒後教育 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	
7) 看護教育の実際 1 看護学科の教育課程を見よう 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	事前課題・GW
8) 看護教育の実際 1 自分の希望する病院の卒後教育を見よう 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）	事前課題・GW
9)	
10)	
11)	
12)	
13)	
14)	
15)	
授業外学習	
事前に配布された資料は、授業前に必ず目を通しておく。その日の授業は必ず資料に目を通して、復習をする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
資料配付	既習科目すべて

課題に対するフィードバック

授業時間内でコメントする
GWにおいては、GW内でシェアする

備考

科目名	在宅看護論実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	2	4年	前期			
担当者名	清水 佑子		関連する資格				
授業概要 何らかの支援を必要とする人に向けた在宅ケアシステムの概要を学ぶとともに、在宅で療養している対象者とその家族に対して、生活を尊重しながら生活の質(QOL)向上の視点から看護援助が実践できる基礎的能力を養う。							
到達目標 B4502a 1. 在宅療養者とその家族について、生活状況をふまえた療養上の課題について説明できる。 2. 在宅療養者とその家族がもつ療養上の課題に対する訪問看護師の役割と、その活動について説明できる。 3. 保健・医療・福祉に携わる関連職種との連携・協働について理解できる。 4. 私生活の場に第三者が介入することの意味を考え、療養者および家族に配慮した行動がとれる。 5. 療養者が在宅で生活し続けるための在宅看護のあり方と在宅ケアシステムや社会資源について考察できる。			成績評価方法 提出物 実習記録 授業外レポート				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
<p>2週間のうち訪問看護ステーション4日，地域連携室半日，居宅介護支援事業所半日，通所リハビリテーション・デイサービス1日の実習を行う。</p>	<p>知識確認テスト 関連図を基にした事例検討</p>
<p>授業外学習</p>	
<p>実習開始前に知識確認テストがあります。講義資料、テキストを復習してください。 実習事前準備として学習をし、積極的に実習に取り組んでください。 課題に沿ってレポートを作成し、実習の振り返りを行ってください。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>看護学臨地実習ガイドブック在宅看護論実習2024年度</p>	<p>在宅看護論、在宅看護論</p>

課題に対するフィードバック

記録物に対しては必要時その場で指導を行います。

備考

科目名	総合看護実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	必修	1	4年	前期			
担当者名	福岡 泰子、加藤 かすみ、清水 佑子、金川 真理、金子 真弓、柿並 洋子、磯村 由美、和氣 さち、江口 里、梁元 陽子		関連する資格	看護師 保健師			
授業概要 これまでの病院や施設または行政での実習を通して見出した自らの課題を明確にした上で、主体的に実習をすすめ、さらに実践能力を高める。 看護業務に携わった経験を持つ教員（福岡・加藤・清水・金子・柿並・磯村・和氣・金川・江口・梁元）が引率、指導を行う。							
到達目標 B4302a 1．これまでの臨地実習での自己の課題を明確にし、課題解決に向けて意図的・計画的に実習に臨むことができる。 2．患者のアセスメントを行い、ニーズを把握することができる。 3．患者のニーズを充足するための看護計画を立案できる。				成績評価方法 臨地実習と技術試験の結果で総合的に評価する。各々60%以上の得点で単位を認定する。臨地実習は、目標達成状況、実習記録、実習態度などを総合して評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○			○		
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							50
実習	○	○	○	○	○		50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
看護学臨地実習ガイドブック 総合看護実習 ・ 参照	技術試験前には実習室での自己練習時間を設ける。
授業外学習	
事前に技術試験を実施するため今まで学習した内容から本実習に必要な技術を復習し習熟しておくこと、実習内容については、別途オリエンテーションを設ける。 実習終了後記録のまとめを要する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
看護管理、医学書院	看護管理、各領域臨地実習、総合看護実習

課題に対するフィードバック

技術試験後には技術に対する講評を提示します。
実習記録は評価後に返却します。

備考

科目名		総合看護実習					
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
実習	必修	1		4年	後期		
担当者名	福岡 泰子、加藤 かすみ、清水 佑子、金川 真理、金子 真弓、柿並 洋子、磯村 由美、和氣 さち、江口 里、梁元 陽子		関連する資格		看護師 保健師		
授業概要 総合看護実習 での学びをさらに深め、看護の対象（患者）を多角的・統合的に把握し、対象の健康上・看護上のニーズを充足させるための援助を展開する。1年次から学んだ看護の集大成として、看護技術や知識を再確認し、実践に応用できる能力を養うとともに自らの看護観をまとめる。 看護業務に携わった経験を持つ教員（福岡・加藤・清水・金子・柿並・磯村・和氣・金川・江口・梁元）が引率、指導を行う。							
到達目標 B4303a 1．看護の対象（患者）を多角的・統合的に把握し看護計画を立案し、他者との共有ができる。 2．チームでの看護実践と医療安全への取り組みが理解できる。 3．看護職の役割や責任、倫理について考察し、自己の看護観をまとめる。				成績評価方法 臨地実習・知識試験を基に実習目標の達成状況、レポート、実習態度を総合的に評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				40
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習		○		○	○		60

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
看護学臨地実習ガイドブック 総合看護実習 ・ 参照		実習後に今までの実習において実践から学んだ知識や技術が統合された知識として習得できているか試験を行う。
授業外学習		
<p>臨地実習に必要な学習を行うこと。 実習病棟により疾患の種類が大きく異なるため、同じグループの実習生であっても共有できる知識の範囲が限定される。そのため、主体的に疾患・看護の理解を深める姿勢が重要となる。</p>		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
看護管理 医学書院 医療安全 医学書院		各領域臨地実習 総合看護実習

課題に対するフィードバック

実習記録に対して、評価をして返却する。

備考

科目名	研究						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	2	4年	通年(前期)			
担当者名	佐藤 美幸、安成 智子、福岡 泰子 、金川 真理、金子 真弓、清水 佑子 、立川 美香、柿並 洋子、磯村 由美 、加藤 かすみ、江口 恵里、梁元 陽子		関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状			
授業概要 研究計画書の作成を通して、各自の課題に対しての問題解決を図る方法を身につけるとともに、科学的思考や論理的表現方法を習得する。その過程を通じて、倫理的配慮の必要性、研究フィールドを得るための方法など、研究に必要な知識を習得する。 教員別に分かれて個別指導を受ける。指導方法は担当の教員による。 授業は対面で行う。 (担当者はすべて看護師もしくは保健師、助産師、養護教諭の実務経験および大学教員としての経験をもとに授業を行う。)							
到達目標 B4301 研究計画書を作成することができる。 研究課題を明確にすることができる。 研究目的を設定することができる。 文献検索を行い、研究の背景を明確にすることができる。 研究の意義を明らかにすることができる。 研究方法を記述することができる。 研究デザインを記述することができる。 論理的・科学的思考を習得できる。 看護上の問題解決能力を養うとともに、看護実践の根拠を考えることができる。 研究における倫理的配慮について説明できる。 看護における科学的根拠を示す方法としての研究の必要性および重要性を説明できる。			成績評価方法 研究計画書をもとに指導教員が評価する。評価には、指導の中での態度や経過を含む(100%)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							100
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 研究 オリエンテーション （佐藤） 【予習】研究 で配布された研究授業概要を読んてくる（30分） 【復習】研究 の授業を振り返る（60分）	
2) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
3) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
4) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
5) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
6) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
7) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
8) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
9) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
10) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
11) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
12) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
13) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
14) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
15) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
授業外学習	
指導教員の指導に従って、授業前に指示された課題を行ってから授業に臨んで下さい。 研究 の内容はすべて復習しておいて下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座別巻 看護研究 医学書院（研究 で使用したもの） 研究授業概要（研究 で配布されたもの）	既習科目のすべて

課題に対するフィードバック

研究計画書の作成を課題とする。計画書は、自ら振り返る（自己評価表）とともに各教員が個別にコメントをする。

備考

科目名	研究			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	2	4年	通年(後期)
担当者名	佐藤 美幸、安成 智子、福岡 泰子、 金川 真理、金子 真弓、清水 佑子、 立川 美香、柿並 洋子、磯村 由美、 加藤 かすみ、江口 恵里、梁元 陽子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状	

授業概要
 研究 前期と同じ
 授業は対面で行う。

到達目標 B4301 研究 前期と同じ	成績評価方法 各教員による評価(研究計画書作成)
---------------------------	-----------------------------

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							100
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
2) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
3) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
4) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
5) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
6) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
7) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
8) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
9) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
10) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
11) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
12) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
13) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
14) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
15) 研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
授業外学習	
指導教員の指導に従って、授業前に指示された課題を行ってから授業に臨んで下さい。 研究 の内容はすべて復習しておいて下さい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
研究 で用いたもの、各自で集めた資料 担当教員から提示された資料	全ての科目

課題に対するフィードバック

前期と同じ。各教員によるフィードバックを行う。

備考

科目名		公衆衛生看護学実習					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	3	4年	前期			
担当者名	立川 美香、山本 博美、山崎 千鶴 代	関連する資格	看護師 保健師				
授業概要							
<p>・地域住民全体の健康の保持増進を目的とした、公衆衛生看護の基本理念と活動の特性を理解し、看護専門職として保健サービスを提供できる基礎的能力を育成する。</p> <p>・市保健センターにおいて、地域の健康課題およびヘルスニーズ、活動の方法、地域ケアシステムの概要を学ぶ。</p> <p>・地域の健康問題の社会的諸条件についての理解を深め、地域における健康に関連する問題を組織的に解決する公衆衛生看護の活動方法を習得する。</p> <p>・常に意見交換を実施し、グループダイナミックスを最大限活用する。</p> <p>『実務経験』立川美香・山崎千鶴代・山本博美は保健師実務経験をもとに実習指導を行う。</p>							
到達目標			成績評価方法				
『B4503a』 1. 市における保健・医療・福祉のシステムを学び、保健師の役割と活動内容を理解し説明できる。 2. 市における健康に関する情報を収集し、地域の健康問題を解決する方法やその過程を理解し説明できる。 3. 直接的な支援（訪問指導、健康教育等）を学習し実践できる。 4. 保健師としての態度を身につける。			実習態度・実習参加度 実習前学習への取組状況 （地域診断・家庭訪問計画・健康教育実践準備等） グループワークへの参加態度 実習記録等の記録物 実習終了後の自己評価 等で総合評価をする。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							10
実習							70

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：公衆衛生看護学実習 ガイドブック参照	ディスカッション グループワーク プレゼンテーション 健康教育の実践 家庭訪問に実践 健康相談の実践 健康診査の実践等
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域での健康教育実践のための事前準備はグループで協力して行う。 ・ 家庭訪問実習は前もって情報収集し訪問計画を立てる。 ・ 実習先の地域診断は実習前からグループで取り組み、実習終了するまでに完成させる。 ・ 実習予定の事業については前もって事業内容・法的根拠等について学習する。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会 ・ 「最新公衆衛生看護学各論1」第3版日本看護出版会 ・ 「最新公衆衛生看護学各論2」第3版日本看護出版会 ・ 「公衆衛生看護学概論」第6版医学書院 ・ 厚生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2023/2024 ・ 実習要領（公衆衛生看護学実習 ・ 、共通） 	コミュニケーション論、公衆衛生学、疫学、保健統計、社会保障論、社会福祉論、保健医療福祉行政論、家族論・家族関係論、総合ゼミナール、身体コミュニケーション論、公衆衛生看護学概論、在宅看護論、在宅看護論、緩和ケア論、災害看護論

課題に対するフィードバック

実習中、実習後に個別に課題に対するフィードバックを行う。

備考

実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック」及び「公衆衛生看護学実習 ガイドブック」の内容をよく読み理解し、遵守すること。

科目名		公衆衛生看護学実習					
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	1	4年	前期			
担当者名	山本 博美、立川 美香、山崎 千鶴 代	関連する資格	保健師				
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民全体の健康の保持増進を目的とした、公衆衛生看護の基本理念と活動の特性を理解し、看護専門職として保健サービスを提供できる基礎的能力を育成する。 ・保健所の活動の方法、地域ケアシステムの概要を学ぶ。更に、健康問題の社会的諸条件についての理解を深め、地域における健康に関連する問題を組織的に解決する公衆衛生看護の活動方法を理解する。 ・保健所における健康危機管理の現状と保健師の活動と役割について学ぶ。 ・常に意見交換を実施し、グループダイナミックスを最大限活用する。 <p>『実務経験』立川美香・山崎千鶴代・山本博美は保健師実務経験をもとに実習指導を行う。</p>							
到達目標 『B4504a』 <ol style="list-style-type: none"> 1．保健所の機能及び役割を理解し説明できる。 2．保健所保健師の役割と、保健所で働く他職種の活動内容を理解し説明できる。 3．保健所管轄地域の健康に関する情報を収集し、地域の健康問題を解決する方法やその過程を理解し説明できる。 4．地域の健康問題に対して、保健所で実施している対人サービスを理解し説明できる。 5．保健師としての態度を身につける。 			成績評価方法 実習態度・実習参加度 実習前学習への態取組状況（地域診断・家庭訪問計画等） 実習記録等記録物 実習終了後の自己評価 グループワークへの参加態度 等で総合評価をする。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							15
演習							
実習							70

課題に対するフィードバック

実習中、実習後に個別に課題に対するフィードバックを行う。

備考

実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック」及び「公衆衛生看護学実習 ガイドブック」の内容をよく読み理解し、遵守すること。

科目名	教職実践演習（養護教諭）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講・演	自由	2	4年	後期
担当者名	新聞 奏恵、白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面(14回)と遠隔(1回)で実施する。
 教育実習や学部における教職・教科専門科目についての学びを振り返り、自己の実践的課題を明らかにする。多様な健康課題、児童・生徒の心身の発達課題に対応するため、養護教諭の仕事内容や役割等についての実践事例をもとに、グループ討論を通して理解を深める。また、自らの社会人としての自覚、人間関係能力等について熟考し、教職への適性を含め、卒業後のキャリアを考える契機とする。
 養護教諭の実務経験をもとに、教職実践演習(養護教諭)について授業を行う。

到達目標

D4401
 1.教職課程ならびに学部教育の学びを振り返り、養護教諭の様々な場面での活動について理解を深める。
 2.自らの学習活動を振り返り、今後の仕事や生き方にどう活かすか、展望をもつ。

成績評価方法

レポート(60%)
 授業態度(10%)
 グループワーク(20%)
 プレゼンテーション(10%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート	10	10		10			30
宿題、授業外レポート	10	10		10			30
授業態度・授業参加度			5		5		10
プレゼンテーション		5		5			10
グループワーク		10	10				20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション・教職科目や養護実習の評価(新開奏恵) 【予習】履修カルテを確認する。(15分) 【復習】自己評価を行い課題点を明確にする。(15分)	グループワーク
2)	養護教諭のスキル(知識・技術)に関する振り返り(新開奏恵) 【予習】養護実習事例を読んでおく。(15分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	グループワーク
3)	救急処置(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	グループワーク
4)	救急処置(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
5)	健康診断(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
6)	疾病予防管理・環境管理(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
7)	保健教育(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
8)	ICTの活用(白石義孝) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
9)	安全管理(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
10)	健康相談(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
11)	生徒指導・特別支援教育・ケースマネジメント(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
12)	保健組織活動(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
13)	保健室経営(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
14)	自己研鑽(新開奏恵) 【予習】学習資料を整理しておく。(20分) 【復習】今後の自分の課題をまとめる。(15分)	
15)	「チーム学校」における養護教諭の専門性と役割(新開奏恵) 【予習】自分の課題に対して課題解決のための取組について考えておく。(20分) 【復習】履修カルテの自己評価を行う。(15分)	遠隔 レポート
授業外学習		
予習として授業に関連する内容を「養護実習記録・養護実習の学び2023」から抽出し、整理する。 復習として他者の意見や配布資料を参考に、今後の仕事や生き方にどう生かすのかをまとめる。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
教材；中村富美子著「養護教諭のスキルラダー」 本学作成「養護実習の学び2023」 実習記録		学校保健、養護概論、健康相談活動

課題に対するフィードバック

毎回の授業の振り返りや気づきについては、一人一人にコメントをつけて次の授業時に返却する。
学生全員の振り返りや気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。

備考

科目名	ナーシングスタディ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	4年	後期
担当者名	金川 真理、金子 真弓、立川 美香、柿並 洋子、加藤 かすみ	関連する資格	看護師、保健師	

授業概要

本授業は対面で実施する。

基礎看護学、成人看護学、小児看護学、母性看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護論及び公衆衛生看護学の担当で4年間の看護学の総まとめを行う。具体的には特に重要なポイントを再度説明し、知識の再確認を行う。また視覚教材を利用し、人体の構造と機能および疾病の成り立ちの理解を行う。

金川真理・金子真弓・柿並洋子は臨床での看護師としての実務経験をもとに、立川美香は臨床での保健師としての実務経験をもとに、ナーシングスタディについて授業を行う。

到達目標

B4404

- 1) 4年間の看護学の就学内容のまとめができる。
- 2) 4年間の看護学の知識において自分の課題を見出し、苦手科目を克服できる。
- 3) 卒業後、看護専門職業人としての心構えを養う。

成績評価方法

小テストや授業内課題(30点)、授業態度・授業参加度(70点)を総合的に評価する。看護師国家試験の模擬試験を実施する。定期試験は実施しない。

評価項目	評価基準						評価割合 (%)
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		70
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション・人体の構造と機能・疾病の成り立ち（担当：長坂） 【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	小テスト 授業内課題
2)	人体の構造と機能・疾病の成り立ち（担当：長坂） 【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	小テスト 授業内課題
3)	人体の構造と機能・疾病の成り立ち（担当：長坂） 【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	小テスト 授業内課題
4)	人体の構造と機能・疾病の成り立ち（担当：長坂） 【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	小テスト 授業内課題
5)	基礎看護学・医療安全（担当：福岡） 【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	小テスト 授業内課題
6)	基礎看護学（担当：磯村） 【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	小テスト 授業内課題
7)	基礎看護学（担当：金子） 【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	小テスト 授業内課題
8)	社会保障制度（担当：三輪） 【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	小テスト 授業内課題
9)	成人看護学（担当：加藤） 【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	小テスト 授業内課題
10)	成人看護学（担当：梁元） 【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：演習から看護のポイントを考える	小テスト 授業内課題
11)	老年看護学（担当：和氣・江口） 【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	小テスト 授業内課題
12)	在宅看護論（担当：清水） 【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	小テスト 授業内課題
13)	精神看護学（担当：佐藤・柿並） 【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	小テスト 授業内課題
14)	母性看護学（担当：安成） 【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	小テスト 授業内課題
15)	公衆衛生（担当：立川）・小児看護学（担当：金川） 【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：演習から看護のポイントを考える	小テスト 授業内課題
授業外学習		
模擬試験の振り返り、各講義の教員が出題した課題や小テスト、看護師国家試験過去問題を行う。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
授業は、各担当の教員が準備する。 問題集・参考書は、学習しやすい書籍を各自が選んで購入する。 指定はしない。 看護学科1～4年生までに購入済のテキスト		基礎看護学、成人看護学、小児看護学、母性看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護論、公衆衛生、人体の構造と機能 ・ ・ 疾病論 ・ ・ 、社会保障論

課題に対するフィードバック

成績の経過を個人に提示し、学力のアセスメントを教員とともに行う。
必要時は、個人面談を行い、不得意な科目の取りこぼしがないよう個人レベルに合わせた指導を行う。

備考